

# 酒米「ひだみのり」育て

## 渡辺酒造店従業員ら田植え

飛騨市古川町壱之町の渡辺酒造店の従業員らは20日、同市内で酒米「ひだみのり」の田植えをした。

ひだみのりは、酒米「ひだほまれ」の元になった品種。2000年に姿を消した絶滅品種だったが、15年に復活した。玄米タンパク質含有率が低く、酒造米としての特性は淡麗ですっきりとしたキレのいい日本酒を生み出せるという。

田植えには、同市観光プロモーション大使でボーイズグループ「マジックプリンス」の永田薫さんも参加。蔵人ら約10人と共に約8㌥の田んぼに手植えし、おいしい酒づくりに向けて丹精を込めて植え付けていた。

ひだみのりは9月中旬ごろに刈り取りを予定。10月からの酒造りに使われる。

(市原萌子)



酒米「ひだみのり」の田植えに取り組む従業員ら＝飛騨市古川町下気多